

今は3月、長崎市の学校では卒業式が次々に行なわれています。入場の順序も呼名も男が先で、女が後。たのしい人生の門出の時。そして4月になれば入学式。希望に胸を張る姿と入場すると男が先で女が後。どうしてかな？ 女の子の心は空気のぬけた風船

みたいに
しぼんで行
きます。
今年も又
長崎市とその
周辺のすべての
義務教育
の学校に
左記の要請
書をおくり
ました。

いつも、男と女と、どわ
けに式が
行なわれる
日迄、ばっ
てん-うーまん
今年、これを
送りつづか
す。

長崎市立小・中学校々長殿

要 請 書

逐次刊行物

平成3年5月16日

国立婦人教育会館
婦人教育情報センター

今年も早や立春を過ぎ、春の気配も心なしか感じられる日々となりました。皆様にはお変わりなくお過ごしのこととお慶び申し上げます。さて女子差別撤廃条約の中にうたわれております「教育の中における（差別）慣習の除去」については、日頃から教育現場におきましてもその精神を生かして取り組んでおられることとおもいますが、今年も卒業式等におきましては、以前の「男が前、女が後」の変形五十音順の呼名をぜひ『男女混合五十音順』にあらためて頂くよう、要請致します。

世の中は大きく変わっています。身体測定が別だから（立岡指導部長・談）、又煩雑だからという理由で毎朝の呼名から始まって会場への入場順、座席、証書の授受、そして退場までをすべて男の後に女を位置付けて卒業させるということは、もう明らかに性差別以外の何ものでもありません。

どうか、一つの人生のステップである希望あふれる卒業式には「男女平等教育」の精神をそのまま生かされ、女も混合五十音順の呼名で胸を張って卒業証書が授与されます様、過去に差別されて胸の痛む卒業の春を送った女達の祈りを込めて、ここに要請致します。

1991年2月25日

ばってん・うーまんの会

ミス・ナガサキの
お祭りだ！

ミズ・コンテスト について考える集いを開催！

2月25日 市民会館会議室で

新聞「信濃」の捕り物まわしと共に ミズ・コンテストを主催している。又主催した事ある関係者の
お話しを聞いた。と知れた。 すると。

新田恒人 長野観光協会事務局長

ミズ・ナガサキ選考委員会事務局長

の高江正人(男性)が出席

まが「ばら」さんの津田事務局長が 今回のミズ・コンテストに対する「チーム会」の取り組みを説明
した。 数々のミズ・コンテスト。旅行のコンパニオン、制服のファッションショー、J.R.のキャンペーンガール
等々について 女性の権利を守る立場から 抗議に来た事と話した。

ミズ・コンテストの条件にどんな問題点があるか？

- 佐世保市のコンテストで 両親の住所、名前、職業を書かせる申請書を出させている。
どうして両親の情報が必要なのか？ おかしい。 女性は一人前の人間だから。 という前提が
感じられる。
- 女性だけが主として外見で判断されるのはやめた。
- 今日、職場で 35才位の男性に「昨年、場内がミス・コンテストがあったけど あなたも出る
の？」と聞いたら頭を下げた。 「人の目にさらされるのはイヤ。」という理由で拒否した。 女の人間だ
ってイヤだ。 特に水着でさらされるのはイヤだ。 体だけを見られるのは女の商品化だ。
- 人間を外形で評価する事はやめた。 本人の責任で得られるものでないものを以て評価す
る事は人間性の無視だ。 自分が努力したものを評価したい。 というのは問題だ。
- ミス・コンテストに選ばれるのはおかしい。 ミスとかミスレス という言いかたが人権無視だと思
う。 女だけ。 独身だけ。 というの意に equal 性を感ずる。
女だけが花 という言いかたもおかしい。
- ミズ・コンテストだけでなく そもそも人間をコンテストで選ぶ事に対する疑問がある。 人間の
評価は人間の商品化だ。 ドイツ市場と同じ事ではないか。
- 「ミス ～」を行事としてやる事は 思想の貧乏をあらわしている。 女を安っぽく扱える
同じ事をされて 男性は耐えられるか？

ミズ 4月に「ミズ・ナガサキ」を言うつもりでいる高江正人にききました。

400年の歴史がある観光都市を代表する親善使節をやる

？ 使節ってどこへ行くのですか？ 各地の物産展へ行つて観光宣伝もある。「1日～長」をする。
観光船もある。各地のイベントへ行く.....

改善すべき事は 昨年のミズの条件より改善した。

年齢制限は18才以上だけにした。 水着着るはやめた。 両親の事はきかない

残る条件は容姿、教養、態度、健康の4つです。

ミズ・ナガサキの収入は？

年間35回。 70日以上 行事に参加出来る人 という条件がある。 → 学費、家賃、税金
という名の文藝者しか出来ない仕事ですね。

賞金20万円。 行事に参加した時だけ日額800円を支払う(美容院代、化粧品代は
二の中に入っている。 別途支給なし) 夏、冬の制服着支給。 振替で貸衣装代
を行事の主催者が支払う。 交通費は夏の都度タクシーで帰す。

↓

最低賃金法違反の事あり。 就業機会が少い地方都市における低賃金の人使いだ。

高江正人の結論。 国際観光都市だからミズ・ナガサキは必要だ。

討論。 ミス～は果して必要か。

- 美しい人をもつて来れば人が集まるだろう → ウソ！ 観光客の3割は女性！
- 「職員の花」として使おうと同じ事は古い。 「雇用均等法」違反。
女性をやとう時は 子育と一人前の賃金を払え。 というのが私達の要求。

- 1年ごとに「ミズ・ナガサキ」を言う交代させる。 経験のつみ重ねを必要としな
い。 使い捨ての発想がある。 若さの使い捨て。 低賃金による若い女性の使い捨て。
それって 高江正人の意図は何か。

- ・家賃手伝いという笑業者を宅賃金で使おうとする。一環「ス〜」になれば「あ〜口今〜」と生涯追跡され「ス〜」だと政治家が見られる。二つや三つ抜けば許されると思う。
- ・審査の仕事も女をおもちゃにしてる。

私達の結論。観光長崎に「ス」は不必要だ

市の観光課に長崎に入港する主要外国船であるアメリカ、ソ連、中国の言葉が出来る人を観光のスペシャリストとして正規に採用し、長崎の歴史、地理、物産すべてに通じている専門員として教育し、経験の積み重ねにより、素晴らしい長崎の案内人を養成し、働いてもらう。このように半数は女性を。

↓
合言葉「スをやめて スペシャリストの養成を」

と為「ス・ナガサキ」がなくなる日迄、抗議を続けよう！

後援会の中にかいま見る不平等 (連載⑤)

最近のどの職場もワープロやパソコンが大量に導入されている。機種が変わることに慣れろと覚え直さなければならぬ。若く人望に於てはゲーム的感覚でなんとなくあぐ覚えられすが、中高年になると、なかなか覚えろのも大変である。VDTのアレルギーや精神障害もあると噂。女性はいつも職場では下働きの仕事に従事しているので、それで済ませるという同然であるから、ずっとVDTから逃れられぬ事だである。出来ませんと言おうものなら無能力扱いにされるし、職場を辞めしめろと言われる。男性は中高年になると、係長、課長、部長となるのでVDTはしたくがければ自分は出来ないと云えばそれで済むものである。ほかにも、係のまとめをすればいいから、暗黙の了解がある。女の仕事、男の仕事の中間にこそ何と差別がある事だろう。女性はボールペンを握り一日中書きつめ、今日それがVDT。女性に頸(肩)腕症候群が多く、男性にはあまり聞かれない。